

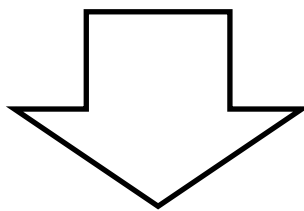
農業機械化促進法を廃止する等の法律案の概要

背景

農業機械化促進法は、昭和28年に、戦後の食糧増産という国家的要請を背景に、国・都道府県が主導して、一定水準以上の農業機械の開発・導入を進める必要があるとの観点から制定

- ① 型式検査制度については、(機械化法第6条～第15条)
 - ・ 農業機械の製造技術が向上し、型式チェックの必要性が低下
 - ・ 近年、トラクターの安全キャビン・フレーム以外に、検査実績がない

- ② 高性能農業機械の開発・導入制度については、(機械化法第5条の2～第5条の8)
 - ・ 高性能農業機械の導入が進展し、国・県中心の開発・導入制度の必要性が低下



法案の概要

- 1 農業機械化促進法の廃止 (廃止法第1条)

- 2 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構法の改正 (廃止法第2条、農研機構法第14条)
 - ・ 農研機構が必要な農業機械(適正機能・合理的価格)の開発・安全性検査を実施